

関数  $f(x) = xe^{-2x}$  が極大値をとる  $x$  の値を  $a$  とする。また、 $m$  を 0 でない定数として  $g(x) = \frac{1}{m}x$  とする。曲線  $y = f(x)$  と直線  $y = g(x)$  は、原点以外に、 $x > a$  において共有点をもつとするとき、次の問い合わせに答えよ。必要ならば、 $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = 0$  を用いてよい。

- (1)  $f(x)$  の増減を調べ、 $a$  の値を求めよ。
- (2)  $m$  の値の範囲を求め、 $y = f(x)$  と  $y = g(x)$  の  $x > a$  における共有点の座標を  $m$  を用いて表せ。
- (3) 不定積分  $\int f(x) dx$  を求めよ。
- (4)  $0 \leq x \leq a$  において、3つの直線  $y = g(x)$ ,  $y = 0$ , および  $x = a$  で囲まれた部分の面積を  $S_1(m)$  とする。また、 $x \geq a$  において、曲線  $y = f(x)$  と 2つの直線  $y = g(x)$ ,  $x = a$  で囲まれた部分の面積を  $S_2(m)$  とする。

$$S(m) = S_1(m) + S_2(m)$$

とするとき、 $S(m)$  を  $m$  を用いて表せ。

- (5) (4) で求めた  $S(m)$  を最小にする  $m$  の値と、そのときの  $S(m)$  の値を求めよ。

(24 宇都宮大 データ経営(理)・地域デ・工・農 4)

【答】

$$(1) a = \frac{1}{2}$$

$$(2) m > e$$

$$(3) \int f(x) dx = -\frac{2x+1}{4}e^{-2x} + C \quad (C \text{ は積分定数})$$

$$(4) S(m) = \frac{1}{2e} - \frac{2\log m + (\log m)^2}{8m}$$

$$(5) m = e^{\sqrt{2}} \text{ のとき, 最小値 } \frac{1}{2e} - \frac{\sqrt{2}+1}{4e^{\sqrt{2}}}$$

【解答】

$$f(x) = xe^{-2x}$$

$$g(x) = \frac{1}{m}x$$

- (1)  $f(x)$  を微分すると

$$\begin{aligned} f'(x) &= 1 \cdot e^{-2x} + x \cdot e^{-2x}(-2) \\ &= (1 - 2x)e^{-2x} \end{aligned}$$

であり、 $f(x)$  の増減は下表となる。

$x$	...	$\frac{1}{2}$	...
$f'(x)$	+	0	-
$f(x)$	↗		↘

極大値をとる  $x$  の値  $a$  は

$$a = \frac{1}{2}$$

.....(答)

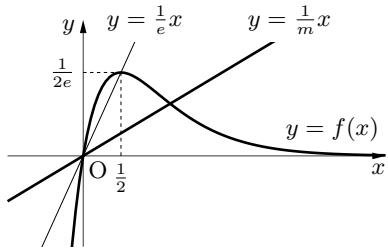
である。

(2) 極大値は  $f\left(\frac{1}{2}\right) = \frac{1}{2e}$  であり,  $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = 0$  であることより,  $y = f(x)$  のグラフは右図となる.

曲線  $y = f(x)$  と直線  $y = g(x)$  は, 原点以外に,  $x > \frac{1}{2}$  において共有点をもつ条件は, 原点と点  $\left(\frac{1}{2}, \frac{1}{2e}\right)$  を通る直線の傾きが  $\frac{1}{e}$  であるから

$$0 < \frac{1}{m} < \frac{1}{e}$$

$$\therefore m > e \quad \dots\dots(\text{答})$$



である. このとき, 共有点の  $x$  座標は

$$xe^{-2x} = \frac{1}{m}x$$

$$\therefore m = e^{2x} \quad (\because x \neq 0)$$

$$\therefore x = \frac{1}{2} \log m$$

であり, 共有点の座標は

$$\left(\frac{1}{2} \log m, \frac{1}{2m} \log m\right) \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.

(3) 部分積分法により

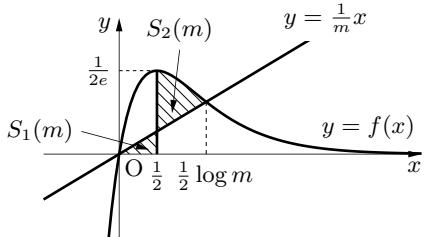
$$\begin{aligned} \int f(x) dx &= x \cdot \frac{e^{-2x}}{-2} - \int 1 \cdot \frac{e^{-2x}}{-2} dx \\ &= -\frac{x}{2}e^{-2x} - \frac{1}{4}e^{-2x} + C \quad (C \text{ は積分定数}) \\ &= -\frac{2x+1}{4}e^{-2x} + C \end{aligned} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.

(4)  $S_1(m)$ ,  $S_2(m)$  は右図の斜線部分の面積であり

$$S_1(m) = \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2m} = \frac{1}{8m}$$

$$\begin{aligned} S_2(m) &= \int_{\frac{1}{2}}^{\frac{1}{2} \log m} \left\{ f(x) - \frac{1}{m}x \right\} dx \\ &= \left[ -\frac{2x+1}{4}e^{-2x} - \frac{1}{m} \frac{x^2}{2} \right]_{\frac{1}{2}}^{\frac{1}{2} \log m} \\ &= -\frac{1+\log m}{4}e^{-\log m} - \frac{1}{m} \frac{(\log m)^2}{8} + \frac{1}{2}e^{-1} + \frac{1}{8m} \\ &= -\frac{1+\log m}{4m} - \frac{(\log m)^2}{8m} + \frac{1}{2e} + \frac{1}{8m} \\ &= \frac{1}{2e} - \frac{1+2\log m+(\log m)^2}{8m} \end{aligned}$$



である.

よって

$$\begin{aligned} S(m) &= S_1(m) + S_2(m) \\ &= \frac{1}{8m} + \left\{ \frac{1}{2e} - \frac{1+2\log m+(\log m)^2}{8m} \right\} \\ &= \frac{1}{2e} - \frac{2\log m+(\log m)^2}{8m} \end{aligned} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である.

(5)  $S(m)$  を  $m$  で微分すると

$$\begin{aligned} S'(m) &= -\frac{1}{8} \cdot \frac{\left(\frac{2}{m} + 2 \log m \cdot \frac{1}{m}\right) \cdot m - \{2 \log m + (\log m)^2\} \cdot 1}{m^2} \\ &= -\frac{(2 + 2 \log m) - 2 \log m - (\log m)^2}{8m^2} \\ &= \frac{(\log m)^2 - 2}{8m^2} \end{aligned}$$

$m > e$  に注意すると、 $S'(m)$  は

$$\log m = \sqrt{2} \quad \therefore \quad m = e^{\sqrt{2}}$$

で符号を変えから、 $S(m)$  の増減は下表となる。

$m$	$(e)$	$\dots$	$e^{\sqrt{2}}$	$\dots$
$S'(m)$		-	0	+
$S(m)$		↘		↗

$S(m)$  は  $m = e^{\sqrt{2}}$  のとき

……(答)

$$\text{最小値 } S(e^{\sqrt{2}}) = \frac{1}{2e} - \frac{2\sqrt{2} + (\sqrt{2})^2}{8e^{\sqrt{2}}} = \frac{1}{2e} - \frac{\sqrt{2} + 1}{4e^{\sqrt{2}}}$$

……(答)

をとる。